

いちよう No.3

栃木市立藤岡小学校だより
平成24年 6 月 18 日

放射線量6/13
0.093 μ ms

「とちぎ未来アシストネットプラン」とは・・・

栃木市教育委員会は、新市まちづくり基本方針の「地域への愛着と誇りを育むまち」の下、「ふるさとの風土ではぐくむ人づくり、まちづくり」をスローガンに、人生の礎となる子どもたちの教育を核とし、学校・家庭・地域の連携・協力による新たな地域ぐるみの子育て体制を作って教育活動を展開していこうとしています。その中心的な取り組みが「とちぎ未来アシストネットプラン」です。

「とちぎ未来アシストネットプラン」とは、学校・家庭・地域が各種ボランティアを組織的あるいは効果的に活用し、子ども達の教育活動をアシストつまり支援する取り組みのことで、学校支援活動の一つの手段として、学校や家庭・地域が結びつくことによって、地域の絆が強まり、地域の活性化にまでつながり、発展していけることを目指しています。

具体的な方法としては、例えば、学校の家庭科の授業でミシンの使い方についてボランティアの方に教師のサポートとして授業に参加してもらったり、校庭の樹木などの剪定などをボランティアの方をお願いしたりすることです。この取り組みは、今までも学校の教育活動の中では行われていましたが、より支援しやすくするために、組織として整備されました。今までは、学校で活動に応じてボランティアの方を探してお願いしていましたが、各学校ごとに地域コーディネーターの方を配置することによって、学校とボランティアの方を橋渡ししてもらったり、情報交換や相談調整の場として、中学校ごと（藤岡地区は藤1中・藤2中合同）に地域協議会を設置したりして、よりスムーズに学習活動を支援できるように工夫されています。



本校では、地域コーディネーターを藤岡地区の民生委員主任児童委員で学校安全ボランティアをお願いしている平間久子様を引き受けていただき、先日、早速、4年生の音楽の授業でリコーダーの指導にご協力いただきました。

このように、今まで支援いただいていた様々な活動に、プラスして新しい支援もどんどん取り入れることができるようになりました。今年度は初年度ということもあり、どんな支援が必要かなど、いろいろと検証しながら進めていくことになると

思いますが、学校としては積極的に活用して学習活動の充実を図っていきたく思います。保護者や地域の皆様に、ご支援のお願いをすることがあるかと思いますが、趣旨をご理解のうえ、ご都合のつく範囲でご支援いただければ大変ありがたいと思います。どうぞ、よろしく願いいたします。

なお、とちぎ未来アシストネットプランに関するお問い合わせ等がある場合は、学校コーディネーターとして教頭が担当いたしますのでご連絡ください。

4月・5月・6月の主な学校行事の紹介・・・



4/25 避難訓練

火災を想定して避難訓練を行いました。放送をよく聞く、先生の指示に従う、黙って素早く避難することが目標です。1年生も黙って避難できました。

5/2 1年生を迎える会

児童会集会で、1年生を各なかよし班にお迎えする会を行いました。少々緊張気味だった1年生もゲームを班のメンバーと一緒に楽しんだり、メッセージカードをもらったりするうちにすっかり打ち解け、なかよしの兄弟姉妹のようになりました。



5/16 安全ボランティアさんとの対面式

登校下校の時に世話になっている安全ボランティアの皆さんと対面式を行いました。ボランティアさんのお話や自己紹介の後、元気な声で「よろしくおねがいします」とあいさつをし、ボランティアさんに付き添われながら下校しました。



5/21 金環日食観測会

交通安全対策のために登校時刻を1時間早め、早くなった時間を利用して観測会を行いました。曇り空も晴れ、遮光グラスで太陽をのぞいた子ども達から歓声が上がっていました。



5/26 運動会

さわやかな初夏の風の中、運動会が盛大に行われました。今年は、校舎の耐震工事の関係で1学期の開催となり、練習など少々忙しい面もありましたが、子ども達が一生懸命がんばり、素晴らしい運動会になりました。どの学年も、短い期間での練習でしたが、涼しい中での練習のため充実できたようです。開会式での元気な歌声に市長さんも大変感心していらっしゃいました。PTA役員、保護者の皆様、前日雨の中の準備や当日の各種役割分担、そして、あっという間の後片付けなど本当にお世話になり、ありがとうございました。



6/5 人権の花贈呈式

藤岡地区人権擁護員の皆様が来校され、みんなが仲良く人権を尊重した学校生活が送れるようにマリーゴールドやサルビアの花を寄贈していただきました。子ども達を代表して環境委員会が贈呈式を進行するなど立派な態度で参加しました。

